



森林を守り、育て、活かし、豊かな森を未来に引き継ごう



■表紙写真 題名：神秘の巨木 撮影地：沼津市西浦河内 撮影者：中吉剛彦氏（東京都足立区）

本誌のバックナンバーは、静岡県山林協会ホームページでご覧いただけます。
ホームページには、林業への就業を考えている方の参考になる記事も掲載しています。

URL : <https://www.moritohito.jp>



INDEX



支部だより①（小山町農林課）
東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技に向けた取り組み



支部だより②（浜松市林業振興課）
修業を活かした林業振興



県庁だより①（経済産業部 森林・林業局 森林整備課）
「主伐型路網構築モデル事業」～10tトラックが通行できる基幹的作業道～



県庁だより②（経済産業部 森林・林業局 林業振興課）
林業への新規就業者確保と県産材を使った家づくり支援について



森林・林業研究センターだより No.89
ヒノキエリートツリー母樹の水分ストレスによる着花促進技術



本部情報
令和2年度の治山・林道等の優秀工事が決まりました



本部情報
最近実施した取組から

別冊折込

第37回しずおか森林写真コンクール受賞作品
令和2年度治山・林道等コンクールの優秀工事

支部 だより①

東京2020オリンピック・パラリンピック 自転車競技に向けた取り組み

小山町 農林課



▲小山町（富士山）

町が会場となる自転車競技コース周辺の森林整備や、オリンピック関連施設への木材提供など、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組について紹介いただきました。

1 町の概況

小山町は、富士山を頂点に、北方を三国山系（三国山1,320m）、北東方を丹沢山地（不老山930m）、南東方を箱根外輪山（金時山1,212m・足柄峠759m）に囲まれており、緑豊かな自然環境と、豊富な湧水、そして田園の広がりから恵みを受け、長い歴史を築いてきました。森林面積は町の総面積の約67%を占めており、ヒノキを主体とする人工林が多く見られます。また、三国山系の尾根沿いや南斜面には、ブナ、ミズナラを中心とする自然林があり、オオモミジ、オオイタヤメイゲツ、イタヤカエデなどのカエデ類も多く見られます。豊かな森林によって育まれた水は、様々な工場に利用されており、環境にやさしい水力発電のエネルギー源としても利用されています。

2 東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技について

小山町はオリンピック・パラリンピック自転車競技ロード種目の会場となります。男子ロードレースでは、最大の勝負どころとなる「明神峠」があり、また、ゴール地点となる富士スピードウェイ周辺を多く走行するコースとなっており、世界トップアスリートによるレース終盤の迫力あるシーンを間近で観戦する

ことができます。また、個人タイムトライアル（男子・女子）及びパラリンピック自転車競技ロードレースは、富士スピードウェイをスタート・ゴール地点としています。



▲自転車競技

3 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

小山町では、国内外から多数の来訪者が見込まれる自転車競技会場周辺や会場へのアクセス道沿線について、景観の向上を図る森林整備に対して支援を行いました。これにより、競技コースからの富士山の見晴らしを回復する等、眺望景観が改善されました。



▲明神峠の景観整備

また、『日本の木材活用リレー〜みんなで作る選手村ビレッジプラザ〜』プロジェクトに協力し、地元木材の良さを全国に発信するため、スギの板や柱材、約5立方メートルを提供しました。このプロジェクトは、全国の木材で一つの建物を作ることで、オールジャパンとしての大会参画をするものであり、大会後に解体された木材は、レガシーとして公共施設などで活用されます。



▲選手村ビレッジプラザ

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催は2021年に延期となりましたが、霊峰富士を望みながら、小山町内の豊かな森林を駆け抜けるコースは起伏に満ちており、見応えのあるレース展開が期待できます。迫力あるレースを身近に観戦するチャンスとなりますので、来年の夏は小山町へお越しください。

支部 だより②

修業を活かした林業振興

浜松市 林業振興課 平山 翔一

2年間の林野庁での勤務経験や木材に関する業務を通して感じたことなどについて紹介いただきました。

【はじめに】

浜松市は平成17年の合併により、全国2位の広大な面積になるとともに、市域の森林率が9%から66%に急上昇しました。豊富な森林資源を有効活用するために、本市では積極的にFSCを取得し、「育てる」林業から「売る」林業へと変革を続けた結果、FSC（FM）は市町村別取得面積全国1位の48,542ha（R2.4月現在）となりました。また、FSC（FM）だけでなく、FSC（CoC）も70社以上が取得しており、日本一FSC認証材を製品として提供できる地域であると言っても過言ではないと思います。本市がFSCで全国的に有名になったのも、多くの森林所有者、事業者のご協力のおかげであり、良い体制が築けていることは林業振興を推し進めていく上で、とても心強いものとなっています。

【修業期間】

このような豊富な天竜材を更に有効活用するため、本市では近年、農林水産省林野庁に職員を派遣しており、私も平成30年4月から2年間、林野庁木材産業課に所属し、国の職員とともに業務を行なっていました。これまで森林・林業関係に携わったことのない私にとって、業界用語、そして国特有の言い回しに苦闘する毎日でしたが、周りの皆さんがとても優しく、丁寧に仕事を教え

ていただいたおかげで、2年間無事に終えることができました。国での業務は忙しく、夜遅くなるのがほとんどでしたが、寝る間を惜しんで飲みにいき、国のベテラン職員から、森林・林業の深いお話も聞かせていただきました。



▲派遣先の林野庁木材産業課の皆さまと。
（平山は左前段2人目です。）

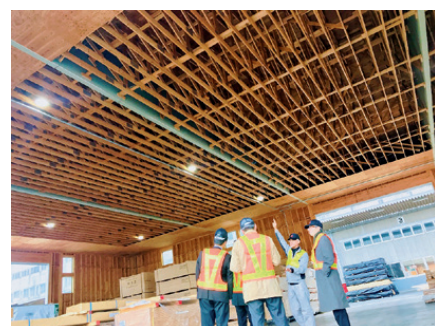
また、農林水産省の野球チームに誘っていただいたり、北海道の木材業者が企画する空知単板100キロウォークに林野庁の職員の皆さんと参加したり、厳しい修業期間も、様々な刺激を受け、多くの人脈を築



▲農林水産省の野球チーム

く良い機会になりました。

さて、その中で私が林野庁木材産業課で主に担当したのは、日本農林規格（JAS）製材等の普及や、新たな木質部材の開発、2×4材への国産材導入の事業でした。印象に残ったことは、木質耐火部材や高耐力の部材・工法の開発などにより、都市部などでも大規模な木造の施設が建築されているということです。住宅着工戸数が減少するなか、木材の新たなマーケットがあると感じ、実際に先進地や施工現場などを視察し、体感することができました。一方で、コストの削減と効率化の課題もあり、山元への還元をいかにしていくかが重要であると感じました。



▲2×4部材を使って建てられた木造倉庫

【これから】

今年の4月から浜松市林業振興課での勤務がスタートし、主に天竜材を使った住宅・非住宅への補助事業や、FSC、出前講座などの森林環境教育を担当しています。さらに、6月からスタートした天竜材を使った3密対策事業「新しい生活様式支援天竜材活用事業」も担当し、日々業務に勤しんでいます。事務職員ゆえに長く携わることはできないかもしれませんが、業務をこなす中で、浜松市の森林・林業・木材産業を勉強し、浜松市の未来を考えて仕事をしたいと思っています。

県庁 だより ①

「主伐型路網構築モデル事業」 ～10tトラックが通行できる基幹的作業道～

経済産業部 森林・林業局 森林整備課

主伐材の運搬に対応した基幹的な作業道の整備に対する補助事業について紹介いただきました。

はじめに

令和2年度新規事業として、主伐箇所から10tトラックで効率的に丸太運搬するための基幹的作業道作設を支援する「主伐型路網構築モデル事業」が始まりましたので、その概要を紹介します。

背景

本県のスギ・ヒノキの人工林資源は充実し、その9割が利用期を迎えている一方、30年生以下の人工林は非常に少なくなっています。森林資源の適切な更新により齢級構成を平準化していくために、主伐・再造林を進めていく必要があります。

そこで、県は、平成30年度から県内各地に「低コスト主伐・再造林の実証林」を設置し、生産性等を検証してきました。生産コストの縮減には、林内路網の適切な設置（クローラ型からホイール型機械による集材へ転換）で、丸太運搬の効率化を図ることがポイントのひとつであることがわかってきました。また、主伐による素材生産は、利用間伐に比べ、大量の丸太が一度に生産されることから、主伐に特化したトラック運搬のシステム化も不可欠です。

主伐箇所から10tトラックが通行できる道を整備することが効果的ですが、地形条件等の制約から、一部が林道規程に準拠できず、国庫補助の対象とならない路線もあります。このような路線（基幹的作業道）の作設について、モデル事業として支援しています。

区 分		国 庫	県 単	通行 車両	管理主体	対 象	林道規程	適 用	
								最小 曲線 半径	最大 縦断 勾配
林 道	林道	○	○	10 tトラック	市町等	主伐・間伐	準拠	12m	16%
作業道	林業専用道 (規格相当)	○		10 tトラック	林業経営体等	主伐・間伐	準拠	12m	16%
	基幹の作業道		○	10 tトラック	林業経営体等	主伐	一部非準拠	10m	18%
	県単作業道		○	4 tトラック	林業経営体等	主伐・間伐	－	6m	18%
	森林作業道	○	○	フォワーダ	林業経営体等	主伐・間伐	－	－	－

事業概要

本事業は、市町が実施する森林整備施策の支援を目的とした森林環境譲与税を財源としており、市町が主体となる協議会で路線計画等を協議し、路網構築手法を普及することとしています。事業主体、補助額、主な採択基準等は以下のとおりです。

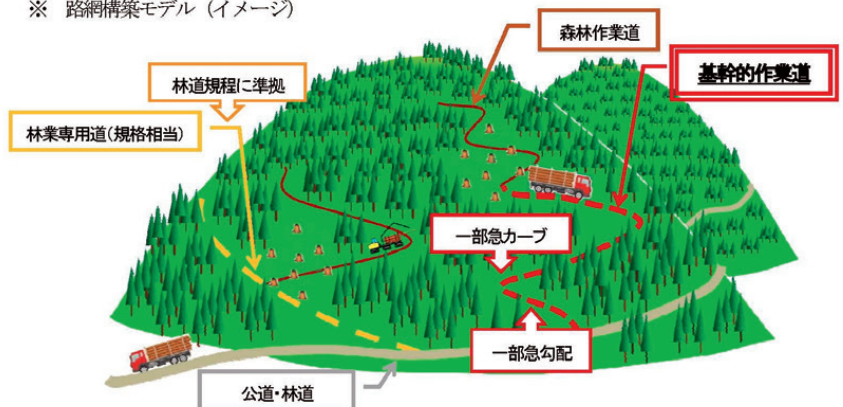
区 分	事業主体	補 助 額	主な採択基準
基幹的作業道	市町・林業経営体	上限25千円/m (定額)	10t積程度のトラックが安全に通行できること 3年以内に、沿線において主伐を実施すること 管理に関する協定を締結すること

令和2年度は、川根本町、藤枝市、浜松市等で整備を予定しています。

おわりに

県内の充実した森林資源を活用し、持続可能な森林経営をしていくためには、路網などの基盤整備が重要です。「林道から尾根等へ支線を伸ばす」、「作業道を10tトラックが通れるよう改築する」等、現場の状況に応じて、本事業を活用することで効率的に素材生産できる範囲は広がります。主伐を計画しているが、丸太運搬の効率化に課題をかかえる現場がありましたら、各農林事務所、市町の担当課にご相談ください。

※ 路網構築モデル（イメージ）



県庁だより②

林業への新規就業者確保と 県産材を使った家づくり支援について

経済産業部 森林・林業局 林業振興課

LINEを活用した林業への就業相談や、「新しい生活様式」に対応したリフォーム支援など、新しい取組や事業を交えて紹介いただきました。

新規就業者確保に向けた取組

就業相談会

県は、林業への就業者を増やすため、山林協会と連携し、「就業相談会」を開催しています。就業希望者は、仕事の内容や採用条件などについての「生の声」を聞くことができ、林業経営体は、自社のPRをする絶好の機会となっています。昨年度は、県内3地域で開催し、合計163人の参加がありました。

今年度も3回開催する予定でおり、9月19日に、第1回目の相談会を清水テルサ（静岡市清水区）で開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、広報の範囲を県内に限定したにもかかわらず、113人も多くの参加をいただき、大盛況でした。

相談者からは、就業に向けた具体的な質問だけでなく、「TVCMを見て来たけど、林業ってどんな仕事？」という問合せもあり、仕事としての「林業」の認知度をさらに高めていく必要を感じました。今後も、様々な機会を通じて「林業」という仕事を積極的にPRしていきます。



▲就業相談会（R2.9）

LINEによる就業相談スタート

10月に、無料通信アプリのLINEを活用した「しずおか林業就業相談」窓口を開設し、「林業」に関する情報に容易にアクセスできるツールを整えました。就業希望者からの相談に随時対応するとともに、林業の仕事内容や林業現場の1日、就業相談会等のイベント情報等を掲載したHPのリンクを掲載し、従来からの就業相談会を補完して、林業の魅力を発信することで、新規就業者の確保を図ってまいります。

「しずおか林業就業相談」

QRコード ⇒



LINE IDで検索

⇒ @580edflw

県産材の家づくり支援制度

品質の確かな県産材製品を使った住宅の新・増改築、リフォームへの県の支援制度を紹介します。

「住んでよし しずおか木の家推進事業」に加え、令和2年度9月補正予算で、県産材加算を含む「ふじのくにライフスタイル創出住宅リフォーム事業」を創設しました。

住んでよし しずおか木の家推進事業

品質の確かな「しずおか優良木材」や県産材JAS製品を使って住宅を新・増改築、リフォームする方に、使用量に応じて助成しています。

○ 1棟当たり助成額

しずおか優良木材等使用量	新築・増改築				リフォーム（仕上材）	
	2～10m ³ 未満	10～15m ³ 未満	15～20m ³ 未満	20m ³ 以上	10～20m ² 未満	20m ² 以上
助成額	6万円	13万円	21万円	30万円	3万円	7万円

ふじのくにライフスタイル創出住宅リフォーム事業

テレワークをはじめとした「新しい生活様式」に対応したリフォームを行う方に助成します。品質の確かな県産材製品を使用した場合、使用量に応じて上乗せ助成します。（11月末から補助申請受付予定）

補助対象	① テレワークスペースを確保するための改修【必須】 ② 「新しい生活様式」に対応した、感染予防対策、家事や子育ての負担軽減、快適な住環境などのための改修	
補助率等	○ 補助率：1/2 ○ 限度額：35万円以内/件（+県産材加算上乗せ助成額）	

○ 県産材加算

しずおか優良木材等使用量	10～20m ² 未満	20～30m ² 未満	30～40m ² 未満	40m ² 以上
助成額	3万円	7万円	10万円	14万円

ヒノキエリートツリー母樹の 水分ストレスによる着花促進技術

森林育成科 福田 拓実

森林・林業研究センターからは、エリートツリー苗木の早期普及を目指して進めている研究について紹介していただきました。

静岡県の人工林は木材として利用可能な9齢級以上が9割を占めており、資源の成熟化が進んでいます。そのため、県では平成30年度から「ふじのくに林業成長産業化プロジェクト」として低コスト主伐再造林システムの構築を進め、令和3年度に木材生産量50万m³、再造林面積500ha/年の達成を目指しています。

500ha/年の再造林には年間約100万本の苗木が必要となり、さらにその苗木は成長が早い等の優良な特性を持つものが望まれます。

これを受け、当センターでは平成30年度から令和2年度にかけて新成長戦略研究「エリートツリー種子の早期生産技術の開発」を行っております。この研究では、当センターで選抜き特定母樹として認定を受けたスギ26系統、ヒノキ25系統をコンテナへ定植し、閉鎖型採種園の中で育成し、エリートツリー同士の確実な交配を行っております。また、閉鎖型採種園内の若齢木でも種子生産ができるようにする必要があるため、通常よりも早期に着花させる技術の開発も行っています。

この研究の中で、着花促進はジベレリンによる薬剤処理を行うことで若齢木でも着花する技術の確立を試みておりますが、従来ジベレリンはヒノキに効きにくいとされてきました。しかし、水分ストレスとジベレリン散布を組み合わせることでヒノキの着花を促進できる可能性があることが分かってきたので紹介します。

短期で着花する技術について

通常、ヒノキは播種から採種までに10年以上かかります。そのため早

期に採種するためには人工的な着花が不可欠になります。

人工的な着花に用いられる代表的な手法はジベレリンの散布です。ジベレリンは花芽形成に関わるホルモンであり、それを直接植物に与えることで着花を促します。スギはジベレリンの葉面散布でも着花が促進されますが、ヒノキでは効きにくいいため、幹や枝に切り込みを入れ、切り口にペースト状のジベレリンを塗布することで着花を促進しています。しかし、当センターで用いている定植後1年程度の若齢木に同様の方法を用いると傷害が発生することがあるため、別の手法を用いる必要があることが分かりました（写真1）。

そこで用いたのが水分ストレスをヒノキに与えることで着花を促進させる方法です。これは、植物は強いストレスを受けると子孫を残すために花芽を形成する性質を利用したもので、水分ストレスとジベレリンの葉面散布を複合させることで着花を促進させます。



写真1 ジベレリン施用の切り込みによる傷害

水分ストレスの与え方

水分ストレスを与えるために、根域制限栽培という方法を用いています。これはコンテナ内に不織布を敷き、その中で植物を栽培することで

根の範囲を制限し、移動や灌水量の調整も容易になるという方法です。さらに、根域制限栽培では根が空気に触れて枯れるため、巻き根が発生せず、地上部よりも明確に小さい形に根を仕立てることができます。写真2は樹高3m以上のスギ母樹の根ですが、根域制限栽培を用いるとここまでコンパクトに根を仕立てることが出来ます。このように、水分ストレスがかかりやすい環境を整えた上で灌水量を調整することで水分ストレスを与えています。



写真2 根域制限栽培によるスギの根

これまでの成果

最後に、令和2年8月現在の成果について報告します。

定植後2年のヒノキを飽水状態にした後、4月下旬から6月上旬まで4日間に1回灌水するという水分ストレスをかけたところ、水分ストレスのみで本来葉になる部分が花芽へと分化しました（写真3）。

灌水が1週間に1回の場合、花芽分化は確認できませんでした。このことから強すぎるストレスは逆に花芽形成を阻害する可能性も示唆されました。

さらに、7月下旬にはジベレリンを散布したため、現在花芽分化が起こっていない処理区や個体でもジベレリンと水分ストレスとの相乗効果による花芽分化が期待されます。その結果は改めて報告したいと思います。

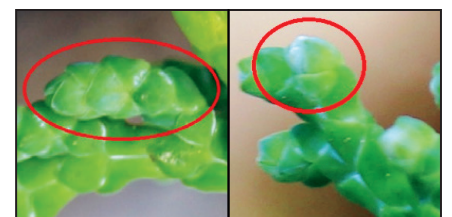


写真3 雌花芽の分化（左）と雄花芽の分化（右）

本部情報

令和2年度の治山・林道等の 優秀工事が決まりました

静岡県山林協会では、治山・林道・森林整備等工事の中で、優れた工事を顕彰し、施工技術の向上等を

図る「治山・林道等コンクール」を毎年実施しています。
今年度も各農林事務所から推薦を

いただき、審査の結果、治山工事の部15件、林道工事の部6件、森林整備等工事の部2件に対して山林協会長賞を授与することとし、10月30日（金）に表彰式を行いました。

表彰された工事は急峻な地形や厳しい気象環境など施工条件が厳しい場所、いずれも作業員の安全確保に十分配慮しながら、高い技術力を発揮された工事であり、工事関係者の皆様の日頃の御努力の成果が表れていることが高く評価されました。

部門	受賞者	施工地	工事名
治山工事	株式会社 玉組	賀茂郡松崎町大澤	平成30年度治山(緊急予防)大畑山工事
	株式会社 室伏組	小山町小山	平成30年度県単治山(県営)大沢(平準化)工事
	株式会社 小松建設	富士宮市佐折	平成30年度治山(奥地保安林)坂ノ沢工事
	株式会社 木村組	静岡市葵区丸子	令和元年度治山(復旧)しだらく沢工事
	株式会社 グロージオ	島田市相賀	令和元年度治山(減災対策)高山工事
	株式会社 中山建設	藤枝市瀬戸ノ谷	令和元年度治山(水源再生)大久保・蔵田宮ノ沢工事
	株式会社 特種東海フォレスト	島田市大代	平成30年度治山(復旧)むくん沢工事
	株式会社 鷹宗建設	袋井市東同笠	平成30年度治山(防災林造成)東同笠工事
	株式会社 マルブンプロテクト	袋井市東同笠	平成31年度治山(防災林造成)東同笠3工事
	水窪町森林組合	浜松市天竜区水窪町奥領家	平成31年度治山(保安林改良)カマヤス工事
	株式会社 マルチ	浜松市天竜区水窪町奥領家	平成30年度治山(復旧)塩沢(30ゼロ債)工事
	株式会社 渡辺兄弟工業	浜松市天竜区春野町気田	平成30年度治山(復旧)仇山工事
	株式会社 天竜アキヤマ	浜松市天竜区龍山町瀬尻	平成30年度治山(地すべり)下里工事
	株式会社 小林組	浜松市天竜区春野町杉	令和元年度治山(予防)八木沢工事
	株式会社 渡辺兄弟工業	浜松市天竜区春野町川上	平成30年度治山(復旧)太田工事
林道工事	有限会社 秋山土建	裾野市下和田	平成30年度森林基幹道裾野愛鷹線2工区工事
	平和建設 株式会社	富士市中之郷	平成30年度集落間林道整備吉津金丸線工事
	ミツヨシ工業 有限会社	静岡市葵区口坂本	令和元年度道整備推進交付金竹ノ沢線1工区工事
	三村建設 株式会社	島田市川根町身成	平成30年度森林環境保全整備京柱線3工区工事
	大沼建設 株式会社	森町嵯塚	平成30年度農山漁村地域整備交付金大尾大日山線工事
	株式会社 浦川建設	浜松市天竜区佐久間町浦川	令和元年度森林環境保全整備地八吉沢線6工区工事
森林整備等工事	赤堀産業 株式会社	浜松市浜北区尾野	平成30年度自然ふれあい施設再整備事業費森林公園木製遊具更新工事
	株式会社 朝倉工務店	湖西市大知波	令和元年度森の力再生事業(竹林・広葉樹等再生整備事業)

○最近実施した取組から

当協会が9月から10月にかけて実施した取組の一部を紹介します。

◆国への要望活動

1都8県の協会で構成する関東甲信地区治山林道協会連絡協議会では、9月8日、令和3年度治山事業・林道事業の予算確保などについて、農林水産省、財務省などに対して要望を行いました。



◆治山、林道技術研修会

新たに治山、林道業務を担当する市町等の職員を対象として、毎年、5月と6月に開催している当研修会については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、今年は9月と10月に開催し、受講した治山9名、林道14名に対し修了書を交付しました。



◆森林経営管理制度円滑化対策研修

一般社団法人全国林業改良普及協会が林野庁から受託し全国7ブロックで実施している「森林経営管理制度円滑化対策研修」が、10月20日～22日に静岡市内で開催され、県内はじめ中部・近畿ブロックの5府県から15名の参加がありました。当協会は、研修の事務局として運営に協力しました。



◆林業への就業支援

9月19日に、県と連携して、静岡市内で就業相談会「第1回しずおか森林の仕事ガイダンス」を開催しました。9月27日は名古屋市内で開催された全国森林組合連合会主催の「森林の仕事ガイダンス」の静岡県ブースに相談員として参加しました。

また、林業に興味のある方を対象に「第1回森林の仕事見学会」を10月24日に富士地区で開催しました。

12～1月は、右記のとおり予定しています。(新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止する場合があります。)



①第2回しずおか森林の仕事見学会

内容：森林での伐採・造材作業や木材市場、製材工場の見学

日時：令和2年12月19日(土) 9時半～16時頃

場所：富士市大淵、富士宮市麓ほか

募集定員：15名まで

募集期限：令和2年12月8日(火)まで

②第2回林業就業支援研修(10日間講習)

内容：林業就業に向け必要な資格や知識を習得する短期研修

チェーンソーや刈払機、小型車両系建設機械(3t未満)の資格取得

実施日：令和3年1月12日(火)～22日(金)

場所：袋井市(小笠山総合運動公園)ほか

募集定員：25名まで

募集期限：令和2年12月8日(火)まで

令和2年度 治山・林道等コンクールの優秀工事（23工事）

受賞の皆様

◎治山工事部門



(株)玉組
松崎町大澤



(株)室伏組
小山町小山



(株)小松建設
富士宮市佐折



(株)木村組
静岡市葵区丸子



(株)グロージオ
島田市相賀



(株)中山建設
藤枝市瀬戸ノ谷



(株)特種東海フォレスト
島田市大代



(株)鳶宗建設
袋井市東同笠



(株)マルブンプロテクト
袋井市東同笠



水窪町森林組合
浜松市天竜区水窪町奥領家



(株)マルチ
浜松市天竜区水窪町奥領家



(株)渡辺兄弟工業
浜松市天竜区春野町気田



(株)天竜アキヤマ
浜松市天竜区龍山村瀬尻



(株)小林組
浜松市天竜区春野町川上



(株)渡辺兄弟工業
浜松市天竜区春野町川上

◎林道工事部門



(有)秋山土建
裾野市下和田



平和建設(株)
富士市中之郷



ミツヨシ工業(有)
静岡市葵区口坂本



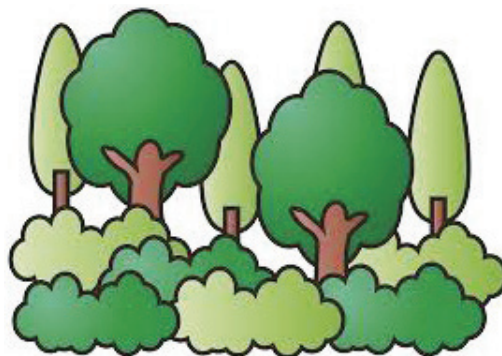
三村建設(株)
島田市川根町身成



大沼建設(株)
森町嵯塚



(株)浦川建設
浜松市天竜区佐久間町浦川



◎森林整備等工事部門



赤堀産業(株)
浜松市浜北区尾野
〔森林公園木製遊具更新工事〕



(株)朝倉工務店
湖西市大知波
〔森の力再生事業〕



※来年度もより多くの工事等が推薦されることを願っています。(事務局)

第37回

しずおか森林写真コンクール受賞作品



最優秀賞

神秘の巨木

中吉 剛彦（足立区）

撮影地：沼津市西浦河内



審査講評

審査委員長

竹林 喜由

今年度の応募につきましては、新型コロナ禍という状況の中で、作品の応募がどうなるかと心配しておりましたが、応募点数357点、応募人員114名（前年度383点、109名）と前年とほぼ同程度となっており安心いたしました。

今回は、去る9月24日に8名の審査員により審査が行われました。

審査方法は例年のように応募者氏名は見ないうえで審査を行い下記の結果となりました。

最優秀賞（静岡県知事賞）は、中吉剛彦氏の「神秘の巨木」に決定しました。

相当の永い年月を生き抜いてきた巨木だろうと思われます。

画面の中央にそそり立つ大木の堂々とした存在感は、神が宿っているような神秘さを感じさせてくれます。

作者はこの巨木の前で其の重量感と存在感に感動したことと思います。作者の気持ちがストレートに感じられる非常に素晴らしい作品になっています。

特選（静岡県山林協会賞）は、齋藤敏雄氏の「自然を守る」、平井省吾氏の「朝の光芒」、**同（静岡県グリーンバンク理事長賞）**は、塚本清次氏の「松の実の発芽」に決定しました。

「自然を守る」小山町須走の富士山麓の治山ダムのようなです。

大雨などによる土砂の流失を防ぐもので、林や森を守る大切な施設です。

カメラポジションも的確で、構図、露出など技術的にもしっかりした作品になっています。

「朝の光芒」これも富士山麓の森でしょうか、森の中の小道をアクセントに朝日の光が木々の間から差し込んで清々しい風景をとらえています。絵作りのうまさを感じられる美しい作品になっています。

「松の実の発芽」コケの中から松の実が発芽した状況を撮影しています。

水滴の状況、光線の捉え方、構図の取り方も良いと思います。

良い被写体を見つけました。この苗が成長するのが楽しみです。

準特選（静岡県山林協会賞）は、勝又悦朗氏の「登る木こり」、木下安雄氏の「年輪数え」、白鳥弘樹氏の「大型車への積み替え作業」、望月椋瑛氏の「威風堂々」、**同（静岡県グリーンバンク理事長賞）**は、小西直昭氏の「山林に包まれて」に決定しました。

「登る木こり」これは枝打ちのための作業なのでしょう、一本のロープに身体を託して登っています。

どうか安全に気を付けて作業をしてください。

珍しい被写体であり、良いチャンスに恵まれました。

カメラポジションが逆光でしたので人物が背景に埋もれてしまい、質感などが分からないのが少し残念でした。

「年輪数え」林業の体験学習会の行事でしょうか、参加の子供たちが森の中で切り

株の年輪を数えている場面です。

子供の時から自然の中で、木に触れあうことは森林の大切さの理解につながります。将来、林業関係者になることも期待したいですね。

子供の真剣な表情と切り株の扱いが大変良いアングルで撮られています。

「大型車への積み替え作業」山からの木材切り出しの途中で、広い道路に出て小型車から大型車への積み替え作業で、機械の発達により林業の作業も効率的になっています。

作業の人物も良い位置に入り、カメラアングルも良く撮影技術も完璧だと思います。

「威風堂々」ジャクシンの老木を前面に配し、枝の隙間に富士山を入れて作画しています。木の幹の模様が面白く、樹齢の永さを物語っています。

構図的にも大胆で威風堂々の感じが良く出ており、切り取り方のうまさを感じさせてくれる写真です。

「山林に包まれて」この写真は、相当高い位置から撮影されています。

新接岨大橋からの撮影と思われます。紅葉した山の中にポツンと建物があります。

人が住んでいるとしたらどんな人なのかと興味がわく写真です。

画面構成も青空と白い雲、遠景の山並みの扱い方が秀逸で良い写真です。

このほかに入選20点が選ばれましたが、受賞者の皆様よりオリジナル画像データをお送りいただきましたところ、撮影日が規定外である作品が1点ありましたため、残念ながら失格とし入選は19点となりました。他はいずれも力作でどれが入賞してもおかしくない作品ばかりでした。次回も多数の力作の応募があることを期待致します。



特選

自然を守る

齋藤 敏雄（大磯町）
撮影地：駿東郡小山町須走



特選

朝の光芒

平井 省吾（富士市）
撮影地：富士市大淵



特選

静岡県
グリーンバンク

松の実の発芽

塚本 清次（静岡市）
撮影地：静岡市駿河区



準特選

登る木こり

勝又 悦朗（御殿場市）
撮影地：御殿場市中畑



準特選

年輪数え

木下 安雄（浜松市）
撮影地：浜松市天竜区熊



準特選

大型車への積み替え作業

白鳥 弘樹（静岡市）
撮影地：静岡市葵区横山



準特選

威風堂堂

望月 棕瑛（富士市）
撮影地：沼津市 大瀬崎のビャクシン樹林



準特選 静岡県
グリーンバンク

山林に包まれて

小西 直昭（川口市）
撮影地：新接阻大橋東側

入選



秋のひのき林

内藤 敏彦（富士宮市）

撮影地：富士市大淵



霧に包まれた森

石垣 清俊（静岡市）

撮影地：静岡市葵区水見色



重機で木材の片づけ

深沢 真（下田市）

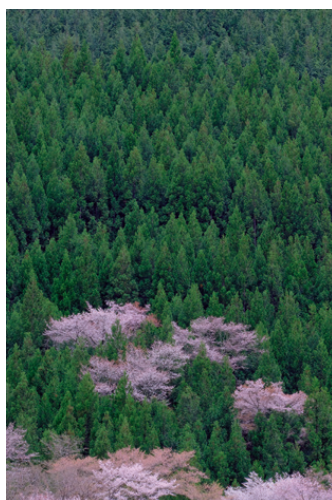
撮影地：賀茂郡河津町逆川



神事

鈴木 信子（森町）

撮影地：周智郡森町三倉 大日山



美林の春

森澤 宗彦（島田市）

撮影地：榛原郡川根本町



富望明美所

中西 敬一（静岡市）

撮影地：富士市 富士市森林組合



森の王様

藤井 昭浩（松崎町）

撮影地：伊豆市 伊豆山稜線歩道沿い



カモシカのバトル

小松原 清（浜松市）

撮影地：浜松市天竜区春野町 不動川



森に咲き誇る

相羽 強（森町）

撮影地：周智郡森町 小國神社



紅葉の防風林

飯田 忠雄（静岡市）

撮影地：静岡市清水区 西河内小学校

入 選



朝霧に映えて

上野 祐司 (箱根町)
撮影地：箱根スカイライン



ヨロイ伏せ

勝又 守洋 (裾野市)
撮影地：伊豆市



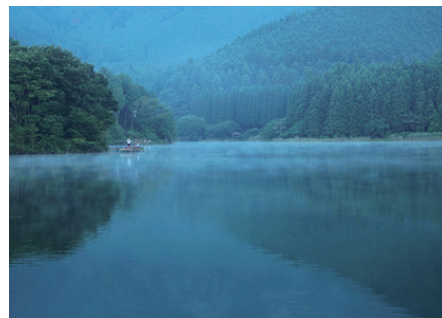
森の遊園地

佐藤 美栄子 (茅ヶ崎市)
撮影地：富士宮市



深い緑に包まれて

谷川 多美子 (磐田市)
撮影地：島田市川根町



湖畔の美林

永田 勇 (静岡市)
撮影地：富士宮市 田貫湖



光り降る

加藤 康弘 (浜松市)
撮影地：浜松市天竜区春野町



見守る木

杉山 沙依美 (草加市)
撮影地：浜松市天竜区



木の駅かわね

近藤 睦 (島田市)
撮影地：榛原郡川根本町 桑野山



朝陽きらり

後藤 正徳 (掛川市)
撮影地：掛川市